

ウブヤマムラ

産山村

総人口…1,328人 男…691人 女…637人 世帯数…537世帯
〈人口構成比〉 15歳未満…9.7% 15～64歳…47.1% 65歳以上…43.2%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



市原 正文 村長

産山村では、「村民所得の向上」「自然環境を生かした観光資源の強化」「子育て支援」「安心して暮らせる村づくり」の4つを基本目標と定め、村民全員が村での生活を楽しみ、安心して暮らせるよう、地域が抱える課題解決と地域コミュニティの絆をつなぐための取組みを推進しています。
ご賛同いただける企業の皆様からのご支援とご協力をお願いいたします。



寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額100万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額100万円以上)
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー6 観光客の誘致・地域PR

しっかり稼ぐことができる村

産山村は、農業と観光を中心とした「稼げる村」を目指します。農業所得向上のためにスマート農業を推進し、優良農地の確保や鳥獣被害対策、農地集積を優先課題とします。観光資源を活かし、農業後継者の帰村や新規就農者支援を行い、6次産業化で産山ブランドを確立します。協力体制を整え、目標達成に向けて推進します。



6次産業化商品に向けた企画審査会



カテゴリー4 児童福祉

手厚い教育をさらに進める村

2007年度に村内の2小学校を統合し、小中一貫教育を導入しました。2009年度には文科省の教育課程特例校に認定され、「ヒゴタイイングリッシュ」「うぶやま学」「チャレンジ学習」を設置。2018年度に義務教育学校「産山学園」を開校し、地域との関わりや異文化交流を通じて郷土愛や国際感覚を育てます。今後は保小中一貫教育を目指し、ICT技術を活用した最先端の教育環境を整え、夢を実現する力を育てる教育に取り組めます。



産山村むら・ひと・しごと創生推進計画

安心して暮らせる村づくり

基本目標

1

環境と儲かる仕組みをつくる事業

本村は基幹産業の農業を支え、就農促進と新たなしごと創出を目指します。自然資源や農産物を活用し、6次産業化商品の開発やデザインを加えた情報発信で、村内商品の売り上げと所得、雇用の向上を図ります。

基本目標

2

自然環境を活かした人とお金の流れをつくる事業

雄大な草原や豊富な水資源、歴史・伝統・文化といった本村の魅力である自然資源と観光資源を活用し、村への興味・好意を持つ村の関係人口を増加させ、さらには観光入込客数や観光消費額の向上を目指します。

基本目標

3

子どもを産みやすい、育てやすい仕組みをつくる事業

出産・子育てをしやすい環境を整えることで出生率の増加を図るとともに、すでに村が力を入れている英語教育、国際交流等に加え、オンライン教育に取り組み、子どもの教育環境の更なる充実を目指します。

基本目標

4

安心して暮らし、誇りを持てる産山村をつくる事業

住み慣れた村の中で、村民が安心して豊かに暮らせるように、災害に強い村づくりと、買い物や交通における課題の緩和を図ります。また、村の文化や歴史を子どもたちに伝え、次世代への村の継承を目指します。

産山村

重点プロジェクト

産山村ヒゴタイ祭花火大会

〈SDGs〉関連するゴール

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナリシップで目標を達成しよう

総事業費

5000千円 寄附目標額 —

数値目標

●花火大会観光入込客数 … 3,000人(2023年度2,000人)

中国大陸が原産のキク科の多年草。8月から9月にかけて村の草原等に咲く花でルリ色の球状の花。瑠璃玉アザミ、ルリ肥後躑躅などいろいろな呼び名があり、村ではお盆の頃に咲くことから「盆花(ぼんばな)」と呼ばれ、仏壇や墓前に供えられる等、昔から重宝されていました。昭和62年に住民投票により産山村の村花に指定され、村花制定を機に夏には毎年「ヒゴタイ祭」が開催されています。



産山村ヒゴタイ祭花火大会

寄附の具体的なメリット

- 打ち上げ前に寄附事業者の紹介、村HPへの掲載による認知度向上及びPR効果
- 本村との新たなパートナーシップの構築

重点プロジェクト

移住したい村、住み続けたい村

〈SDGs〉関連するゴール

11 住み続けられるまちづくりを

総事業費

— 寄附目標額 —

数値目標

●年間転入者数 …… 47人

高齢化率が43.7%と、人口減少と高齢化が進行しています。一方、素晴らしい景観や2つの水源から供給される美味しい水、特色ある教育など、産山村ならではの生活環境があります。産山村の景観保全とエネルギー生産を含めた循環型社会の構築に積極的に取り組みます。近年、地震や豪雨等の自然災害が多発していますが、防災体制の構築や治山・治水の取り組みを推進し、村民が安心して暮らせる環境を整えます。また、健康・福祉の充実、出産・子育て支援、住宅整備の充実を図り、移住や帰村を促進する村づくりに取り組みます。



村民、移住者、移住希望者による交流会

寄附の具体的なメリット

- 村HPへ掲載による認知度向上及びPR効果
- 本村との新たなパートナーシップの構築

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。